

「京都府食育推進計画（中間案）」に係るパブリックコメントの要旨

パブリックコメント実施期間：平成18年10月16日～11月15日
寄せられた御意見等 FAX、はがき等39件

	項目	意見の要旨	計画（案）への反映
1	計画全般	食育は、家庭の食生活のあり方に及ぶ概念であり、現実に即した取組の推進を考える必要がある。	計画（案）に記載
		食育は、健全な生活を営むための一面であり、健全な生活習慣を身に付ける教育が必要。	計画（案）に記載
2	京都の特性	栄養教諭や保育士、保健師など食育に関わる職業を志す学生が、実際に現場で食育を行うことで、人材育成、世代間交流の面で高い効果が期待できる。	計画（案）に記載
		京都府には、豊かな生産地、伝統ある観光都市・消費地があり、独特の食文化を食育に取り入れ推進することは、食育文化を伝承し、地消地産をすすめていく上で大切な。	計画（案）に記載
3	基本理念	『京都の「食」伝承』という表現は良いが、旬の素材を活かした行事食やおばんざいをおいしいと感じる味覚を育むことだけでは狭いので、『京都の「食」伝承』の後に（「日本型食生活」）を補足することが必要。	
4	取組の方向・関係者の役割	市町村がどのような計画を立てればよいのかという観点でみると、推進の方向性が明確でない。	
		重要なことや必要なことが何かは分かるが、具体的に誰が何に取り組むのかわからない。	
		「ほんまもん」と出会い、五感で味わう食育～「食」に感動する機会を作る取組は大切なことなので、しっかりと進めてほしい。	計画（案）に記載
		「ほんまもん」ということばには多少抵抗を感じるが、「旬の素材を生かした行事食やおばんざいを中心に、京都の食の伝承をはかること」はきわめて大切。	計画（案）に記載
		食品業界との連携や添加物についての啓発も行う必要があります。	計画（案）に記載
		小さなNPOでは取組に限界がある。NPOと専門職、料理人さんなどを交えた研究会や実践グループが生まれても良い。行政にそのコーディネートを願います。	計画（案）に記載

	項目	意見の要旨	計画(案)への反映
4	取組の方向・関係者の役割	地域の責任で、惜しみなく、子どもたちの給食に地元の旬を取り入れるようお願いします。	
		取組の中に『「安全・安心」を選ぶ力をつける』を明確に付記してください。	計画(案)に記載
		食育ネットワークをつくり、みんなで取り組む食育について、充実していただきたい。	計画(案)に記載
		関係団体の連携が機能するように、京都府がコーディネーターの役割を果たしていただきたい。	
		電子媒体の活用では、京都府のホームページに、「食育推進」のサイトを設け、関係団体の活動がいつでも交流できるようにリンクやメールマガジンの配信など、タイムリーな情報提供ができるように、すすめてください。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		マンパワー強化の取組について、各団体の人的資源を確保するとともに、京都府独自に人材育成のための食育養成講座を開催し、府民が関心を持ってすすめられるようにしてください。	計画(案)に記載 食育養成講座は、具体的な取組の中で検討
5	ライフステージごとの取組	壮年前期で、市町村や職場が行う健診や食育教室に積極的に参加することが必要であるのは、もっとも。	計画(案)に記載
		ゆりかご時から、取組を行うには、そのための知識・技術を親に持ってもらうことが必要。 妊娠は心身共に、生活習慣を改める絶好の機会であり、条件的にも定期検診や母親(父親)教室、乳幼児検診などで情報が入手・提供できる機会でもある。 この時期に今以上に人と予算をつけて府が広域行政として積極的に取り組むことが重要で、少ない予算であればこそ、この時期に集中すべきと考えるが、計画の妊娠期の取組や記載は貧弱である。 少子化対策予算とも連携して、将来の食育地域実践リーダーの養成も念頭に入れて取り組んでいくという強い意志が伝わる計画にされたい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		学校での食の教育を充実し、その内容が子供を通じて家庭(親)に還流するような取組を期待したい。	計画(案)に記載
		「大学生の食育はどうあるべきか」の研究・実践を交流しあう場所が欲しい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		青年期の取組とサポート体制が、計画では、やや抽象的になっているように思えます。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討

	項目	意見の要旨	計画(案)への反映
5	ライフステージごとの取組	ライフステージにおける取組では、私ども大学生協・地域生協・職域生協それぞれが取組をすすめると同時に、共同・連携の可能性を追求していきたい。	
		計画推進のための取組をより具体化し、各ステージごとに食育プログラムを作成、食育推進のツール作りを進めてほしい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
6	計画推進のための取組	学校現場での食育はイベント的なものではなく、学校のカリキュラムに組み込んだり、普段の生活の中で行える内容にしたりといった工夫が必要。	計画(案)に記載
		海外の原産地から来て身近なものとなっている野菜が多い。野菜を通じて自分たちが海外の国とつながっていることを理解することも、取組の中に入れていく必要がある。(野菜は世界の文化遺産)	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		食育アドバイザーとして活動している食生活改善推進員とのネットワークの構築と支援をお願いします。	計画(案)に記載
		食育と食の安心・安全をコラボレートし、「食に関するリーフレット」を作成し、広報することで相乗効果を得られる。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		京都府内産で安全でおいしい伝統食を給食に増やしてほしい。	計画(案)に記載
		学校給食には、できる限り地場産の食物、特に主食となる米や小麦は安全な食物を使ってほしい。	計画(案)に記載
		給食に専門の調理師さんを置くことで学校と親のコミュニケーションが、食や健康を通じてもできるようになる。	
		給食は体にいい安全なものを使って欲しいし、食器もアルミなどではなく強化磁器を使用して食事を楽しくするものにしていただきたい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		学校給食は、地場産をできるだけ取り入れられるように小さい単位で給食食材の供給をしてください。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		中学校でも給食を実施してほしい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		自校での中学校の給食を府の制度で確立してほしい。	
		小学校の遠足などに、観光農園などをもっと使っていきべき。	
		自給率を上げるため、農民が作ったら作っただけ買い上げられるようお願いする。	
「食育」をキャンペーンとして、予算もたっぷり盛り込んで推進してほしい。			

	項目	意見の要旨	計画(案)への反映
7	目標	食育に関心を持っている府民の割合が何故70%なのか?朝食をほぼ食べない児童の割合が何故3%あるのか?それらの原因を、一定把握した上で施策を進める必要がある。	
		計画推進のための取組と成果目標との関係でよくわからない部分がある。	計画(案)に記載
		朝食摂取率については、小学生だけでなく、中・高校生、大学生も対象にしてはどうか。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		バランスのとれた食生活を送っているかどうかの目標設定が必要。	
		学校での栄養教諭の育成・配置について、目標設定が必要。	
8	推進体制と計画の進行管理	食育に関する「情報交流」が特に活発になるようにしていただきたい。府ホームページに「食育推進」のサイトを設置していただきたい。	計画(案)に記載 サイトについては、「食」に関する情報提供を進めることとしており、その中で具体的な取組を検討
		「食育ネットワーク」を形成し、食育に関する「活動交流」を活発にすることが重要です。そのような「場」をもっといただきたい。	計画(案)に記載
		ネットワークを推進する組織として「協議会」を設置することに賛成です。多くの団体が加入し、息の長い取組にしていく必要がある。	計画(案)に記載
		「コーディネーター(調整役)を明確にし、関係者が連携」となっているが、関係機関が広範囲にまたがっており、地域の実情はあるものの一定の要項を示してもらわないと市町村での推進が困難。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		京都府における推進体制では、「プロジェクト」と併せて、『食育推進』を担う専任の部局を配置し、計画の進捗状況を把握、遂行していただきたい。	
9	その他	「きょうと健康長寿日本ープラン(中間案)」との関係で、重複することにより、ムダや無理がないよう十分な打ち合わせが必要。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		各分野での推進計画については、具体的な細かい計画はもっと現場に任せた方がよい。下からの意見を汲み上げる努力をさらにしてほしい。	
		調査活動や教育プログラムの開発など大学や研究等との連携が必要。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		京都市との連携も重要。	計画(案)記載

	項目	意見の要旨	計画(案)への反映
9	その他	食育活動応援のための、国の助成紹介や府独自の措置があってもよい。	計画(案)に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		ボランティア等を無償でと思われるのであれば、この計画は無理。	
		食を通じて子ども達と自分の体のこと、農業のことなど話し合っていくのはとてもわかりやすく大切なことと思います。(意見)	
		産地直送で野菜や魚を購入している。素材のまま新鮮なものが届くので、子ども達は野菜の形や一匹丸ごとの魚を見て育ったので、料理おさしみづくりもします。これぞ食育だったと思っています。(意見)	